



令和7年3月19日  
中部地方整備局  
港湾空港部

## 令和6年度第2回総合評価審査委員会 第二部会・第四部会を開催しました

中部地方整備局では、総合評価審査委員会第二部会・第四部会を開催し、令和7年度第1/四半期に発注する工事及び業務に関して、技術提案の審査、評価内容等が中立かつ公正なものとなるよう、学識経験者等で構成された委員会にて審議を行いました。

審議の内容について、以下のとおり公表いたします。

1. 日時 令和7年2月28日（金） 10時00分より12時00分まで

2. 開催方法 対面及びWeb形式

### 3. 議事概要

#### 第二部会

- ・ 令和7年度（第1/四半期）の発注予定案件
- ・ 総合評価落札方式の評価基準の見直しについて

#### 第四部会

- ・ 令和7年度（第1/四半期）の発注予定案件

4. 関係資料 別添のとおり

### 5. 問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 港湾空港部 品質確保室

技術審査官 和田 尚久（わだ なおひさ）

品質確保室長 西尾 真理（にしお まり）

TEL : 052-209-6331

以上

【中部地方整備局総合評価審査委員会 第二部会及び第四部会 委員名簿】

委員 加藤 茂(かとう しげる) 豊橋技術科学大学 教授

委員 北野 利一(きたの としかず) 名古屋工業大学 教授

委員 小林 智尚(こばやし ともなお) 岐阜大学 教授

委員 水谷 法美(みずたに のりみ) 名古屋大学大学院 教授

(五十音順)

## 令和7年度(第1/四半期)の発注予定案件審議数

＜第二部会＞			
令和7年度(第1/四半期)工事の発注予定案件			案件数は公告日を基準
総合評価種別	契約方式	令和7年度	
		審議済み	第1/四半期予定 今回審議案件数
技術提案評価型(S型)	一般競争 (WTO)	3	2
	一般競争	2	5
施工能力評価型(I型) (施工計画重視型)	一般競争	0	1
施工能力評価型(I型)	一般競争	5	6
施工能力評価型(II型)	一般競争	5	4
合計		15	18

＜第四部会＞		
令和7年度(第1/四半期)業務の発注予定案件		案件数は公告日を基準
契約方式別	令和7年度	
	審議済み	第1/四半期予定 今回審議案件数
プロポーザル方式(公募型)	0	0
プロポーザル方式(簡易公募型)	3	4
総合評価落札方式(標準型)	11	18
総合評価落札方式(簡易型)	11	11
合計		25
		33

# 1) 総合評価落札方式の評価基準の見直しについて

**令和7年4月1日以降に公告する工事より適用**

## 方針 「地元作業船の活用」の加点評価条件の見直し

大規模災害時の航路啓開・応急復旧作業を担う作業船の保有・維持を促進するため、地元企業が所有する船舶を当該工事に使用する場合に評価を行っている。

現行最新の評価要領に合わせて、加点評価条件の見直しを行い、一層の活用促進を図るものとする。

### 現行基準

#### ◆加点評価条件

- 工事を実施する当該港の所在する都道府県内に本社・本店を有している地元企業の所有する作業船を使用すること。
- 当該工種の作業日数の50%以上使用すること。
- 本試行は「作業船の保有等（保有形態、環境性能、新造）」に換えて評価を実施すること。



### 新基準

#### ◆加点評価条件

- 工事を実施する当該港の所在する都道府県内に本社・本店を有している地元企業の所有する作業船を使用すること。
- 主要工種**の作業日数の**30%以上**使用すること。  
ただし、作業船の使用が**主要工種を含む複数工種**にまたがる場合には、**複数工種の合計作業日数の30%以上**でも可とする。  
また複数の地元作業船を使用して、**主要工種及び主要工種を含む複数工種の作業を行う場合も、地元作業船の合計作業日数が30%以上**使用すること。
- 本試行は「作業船の保有等（保有形態、環境性能、新造）」に換えて評価を実施すること。